

南高図書館だより

2026年9月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『鎌倉うずまき案内所』

青山美智子／著 宝島社(宝島社文庫)

この本はそれぞれ違った悩みを抱えた人々が、「鎌倉うずまき案内所」に迷い込みます。そこで出会う2人の老人に思いを打ち明けることで、少しずつ心がほぐれていく—そんな温かさを感じられる物語です。本作は6つの短編で構成されており、主人公の年齢や職業、悩みなどは6つともそれぞれ異なっていますが、物語同士がゆるやかに繋がっているのも魅力の一つです。一度読んでみた後にもう一度、今度は後ろから読み返してみると、新たな発見があるかもしれません。どちらから読み始めても楽しめる一冊です。

『銀河鉄道の夜』

宮沢賢治／著 KADOKAWA(角川文庫)

孤独で貧しい少年ジョバンニが親友のカムパネルラと銀河鉄道で旅をしている途中で、大学生や鳥捕り、姉弟などと出会い、本当の幸せを考える物語です。天の川を泳ぐイルカや赤く燃えるさそりなど幻想的な描写がとても魅力的なのでぜひ読んでみてください。



『家電は物理学である』

横川淳／著 ベレ出版

『家電は物理学である』は、身近な家電に使われている物理の仕組みをわかりやすく紹介している本です。普段何気なく使っている電子レンジや掃除機、時計などに、さまざまな物理法則が関わっていることを知り、とても興味深く感じました。難しいイメージのある物理ですが、この本では身近な例を使って説明されているため、楽しく読み進めることができます。物理が好きな人はもちろん、苦手な人にもお

すすめたい一冊です。

図書館からのお知らせ

◆さいたま市立高校・中等教育学校・さいたま市図書館コラボ企画◆

第9回市立高校POPバトル開催中

市立高校3校と中等教育学校1校の生徒が選んだおすすめの本12冊を、高校生のオリジナルPOPとともに展示しています。

もっとも本を読みたいと感じさせたPOPはどれか？

ぜひ投票して、応援してください！



展示期間 令和8年9月1日(火)～9月30日(水)まで

展示場所 図書館内、3階中央廊下

投票方法 展示場所に設置された台紙にシールを貼って投票できます
また、さいたま市図書館ウェブサイト※上からも投票できます

※ <https://www.lib.city.saitama.jp/contents?6&pid=9171>



← 投票ステージはこちら！



4階図書館



＼投票&応援、よろしくお願いします！／



新着図書PICKUP

7・8月に新しく入った本

知識の本

あなたの“推し石”と出会う本 ころとときめく鉱物の世界

さとうかよ／著 大和出版

アクアマリン、タンザナイト、ペリドット…さまざまな鉱物を美しい写真やエピソードと共に紹介する。自分だけの特別な「推し石」に出会える本。

日本ご当地マンホール大全

渡邊文善／著 辰巳出版

全国各地のデザインマンホール蓋が大集合！ 都道府県別ご当地マンホールや企業コラボなど、いろいろなデザインのマンホールを楽しめる。

語りたくなるほど奇抜で破滅的な作曲家の人生

上原章江／著 ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

無邪気な天才モーツァルト、超イケメンのスーパーstar・リスト、究極のオレ様男のワーグナー…。憂鬱なのに愉快、破滅的だけど独創的なクラシック作曲家たちの素顔を軽妙に語る。

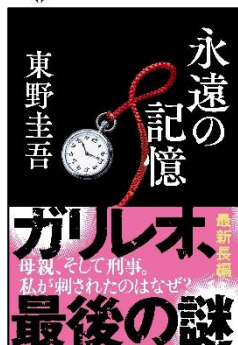
チャーハンという迷宮 なぜ国民食になったのか

石田かおる／著 NHK出版(NHK出版新書)

チャーハンはいつ日本にやって来て、いかにして国民食になったのか。「冷や飯論争」、「ピラフはチャーハンか？」問題、「パラパラ」派と「しっとり」派の抗争の行方…さまざまな切り口で、身近なのに謎を秘めた料理・チャーハンの歴史に迫る。



小説・文学



永遠の記憶

東野圭吾／著 文藝春秋

内海刑事が刺された！ 捕まった犯人は黙秘を貫き、さらに別の人物が捜査線上に浮かぶ。湯川が挑む最後の謎とは。ガリレオ最終作。

夜想い

住野よる／著 双葉社

未知の病・「星空中毒」を観察する「空想研究会」に入部した始は、やがて今は亡き少年について知ることになる。大切な誰かへ、弔いの物語。

はじまりのスープ、夏ゼリー

瀬尾まいこ／著 新潮社

中森リリーは、バイトと料理コンテストの賞金で食いつないでいる26歳。コンテストで出会った男に頼まれてスープを作ったところ、目の前で急に泣かれてしまって…。おいしい料理がたくさん出てくる、やさしさに満ちた物語。読めばきっと、誰かとごはんを食べたくなる！

殺し屋の出世術

野宮有／著 講談社

謎の男・鷹見に拉致され、彼と争うことになった鳥井。敗者には死が与えられる、命を賭けた出世レースを、営業術で勝利できるのか。情け容赦ない頭脳戦が始まる。『殺し屋の営業術』続編！



【コラム】南高司書の部屋

生成 AI との付き合い方

生成 AI、皆さんは利用していますか？ どのようなことに使っているのでしょうか？

ここ数年で、生成 AI の利用はかなり増えた感覚があります。3月まで勤めていた市立図書館のカウンターでも、生成 AI についての本があるか、よく訊かれました。中には、生成 AI が参考文献として挙げた本を探してほしい、と言われたことも。けれども、調べてみたところ、その本はそもそも存在しない本でした…。

意外と思われるかもしれませんが、AI がウソの情報を出力することは結構、あるのです。これを、「**ハルシネーション**」(Hallucination)といいます。**生成 AI が、事実とは異なる情報をあたかも正しいかのようにもっともらしく生成してしまう現象**です。

実際、カウンターで訊かれたその本は、いかにもありそうなタイトル、実在する著者の本でしたが、著者名で調べても、タイトルで調べても、出版を確認できませんでした。訊かれたテーマに関する本として、AI が適当に情報を組み合わせて回答したようです。

このように、生成 AI が提供する情報は、必ずしも、正しいとは限りません。生成 AI を利用する際には、「**その情報が正しいか確認する**」というひと手間をかけることが大切です。

また、このほかにも、生成 AI を利用するにあたって注意してほしいこと、その利用の心得をまとめてみました。ぜひ参考にしてください。

生成 AI はとても便利で、いろいろな可能性を広げてくれるものである反面、その利用には注意が必要です。正しく使いこなせば、きっと皆さんの心強い味方になってくれるはず。

「考える」のは自分の仕事、それを「助ける」のが AI の役割。
きっちり線引きをして、AIとうまく付き合っていきたいですね。

モラルを守った利用方法については、**文部科学省の「情報モラル学習サイト」**が参考になります。

こちらも見てください！

情報モラル学習サイト(文部科学省)
<https://www.mext.go.jp/moral/>

生成 AI 利用の心得

- AI の情報が正しいかを必ず確認する
本や新聞、ネット検索などで事実確認！
- 個人情報(住所氏名、生年月日等)を入力しない！
入力データが AI の学習に使われることがあります
- モラルを守った利用を心がける
著作権侵害に注意！！
- AI はあくまでも道具として利用する
考える主体は自分であり、AI はそれを補助するための道具として使いましょう